

特集

富士見未来会議からの提言



第4次富士見町総合計画策定に伴い、12月から6回にわたり町民の皆様からご提言をいただく富士見未来会議を開催しました。会議において検討され、まとめられた内容について、ご紹介します。

私達は、富士見町の将来像を描く「富士見町基本構想・基本計画」の策定に当り、富士見未来会議に参加し、話し合いを進めてきました。総合計画は、町政全般にわたる広範囲の課題を取り扱うものです。私達は、限られた時間の中で、参加者一人ひとりの意思、提案を大切にするため、分科会等を設置せず全員が同一のテーブルに付きながら意見の集約を行ってきました。全ての分野についての検討を行った訳ではありませんが、これから先10年間のまちづくりに、住民の視点から大切であろうと考えるものを中心に検討を行いました。

まとめは、町の未来に大きな影響が想定される8項目を基本テーマに設定し、提案された意見を分類別に整理しました。項目によっては、既に取り組みが実施され、一定の方向性が示されている事務事業もあろうかと思えます。住民提案であることから、行政等による現在の取組み状況との整合性の精査は実施していません。また、各提案は具体的解決策等を明示したものから、問題提起のみに止めているものもあります。さらに、同一課題に対する方向性の違った提案もあることから、両論併記の形を採用しました。

新しい総合計画のなかに、私達の提案全てが反映されることは想定していません。計画原案を策定される行政職員の皆さんに、私達住民の想いをまとめたこの提言書に目を通していただくことによって、住民視点に立った総合計画の策定がされるのではないかと期待するところです。

「自立のための協働のまちづくり」が町政運営の基本理念の一つと聞いています。この理念が単なる抽象的なものから、町民誰もが理解でき、具体的なまちづくりに役立つ実行計画として策定され、住民主体の活力に満ちたまちづくりが実施されることを切に願うものです。

平成18年3月2日

未来会議参加者一同